

公益社団法人 長泉町シルバー人材センター

## 第10回 定時総会

### 議案書

日 時 令和3（2021）年6月25日（金）

場 所 長泉町ワークプラザ（長泉町シルバー人材センター）

開催方法 書面表決（議決権行使）書の提出による

公益社団法人 長泉町シルバー人材センター

駿東郡長泉町桜堤1丁目10番9号 長泉町ワークプラザ内

TEL (055) 988-2670

FAX (055) 988-2681

E-mail:nagaizumi@sjc.ne.jp ホームページはこちら

携帯のカメラからもアクセスできます



## 報告事項

# 監査報告書

令和3年5月10日

公益社団法人長泉町シルバー人材センター

理事長 内田 将善 様

公益社団法人長泉町シルバー人材センター

監事 関 知典 ㊞

監事 杉山 孝二 ㊞

(原本は、署名押印済みです。)

私たち監事は、公益社団法人長泉町シルバー人材センターの令和2年度における会計及び業務の監査を行いました。その方法及び結果について次のとおり報告いたします。

### 1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。

以上の方針に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書について検討いたしました。

### 2 監査意見

#### (1) 事業報告等の監査結果

① 公益社団法人長泉町シルバー人材センターの令和2年度の事業報告及びその附属明細書の内容は真実であり、法令及び定款に違反する重大な事実はないと認めます。

② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認めます。

#### (2) 計算書類及びその附属明細書監査結果

公益社団法人長泉町シルバー人材センターの令和2年度の計算書類及びその附属明細書は、一般に公正妥当と認められる公益法人会計基準に準拠しており、公益社団法人長泉町シルバー人材センターの正味財産増減の状況及び財政状態を適正に表示しているものと認めます。

報告事項

令和2(2020)年度事業報告

令和2(2020)年度公益社団法人長泉町シルバー人材センター事業報告について、  
定款第36条第2項の規定により報告する。

令和3(2021)年 6月25日提出

公益社団法人長泉町シルバー人材センター  
理事長 内田 将善

## 令和2（2020）年度事業報告

出生率の低下に伴い労働人口が減少し、超高齢化社会が進展する現状の中で、我が国の大経済の活力を維持するためには、生涯現役を目標とし、できるだけ多くの高齢者が健康で活躍、貢献することが肝要となってきております。シルバー人材センターは、その一端を担う組織として、果たすべき役割はますます重要なものとなっております。

しかしながら、年金支給年齢の段階的引き上げや新型コロナ感染拡大に伴う雇用情勢の悪化など、60代の新規会員の加入環境は大変厳しい状況にあります。

こうした中で、当センターでは、組織運営においても事業実施においても公益法人としての役割を強く意識し、適正就業の推進、就業機会の拡大のための積極的な活動に努め、今年度は、マスク製作を通して社会貢献を兼ねた新たな事業にも取り組みました。また、安全就業の徹底を図りつつ、植木剪定や草刈り講習などの技能や実習を必要とする後継者育成にも力を注ぎました。

令和2年度末現在では

会員数	334人	賛助会員	23会員
就業実人員	請負254人	派遣44人	合計298人
(請負と派遣を重複して就業している場合、派遣を減員しています。)			
就業率	89.2%	就業延人数	33,496人

会員数は、昨年度比で3名の減でしたが、派遣が増加となったため、請負事業と合わせると前年よりも事業実績は281万円増加し、1億8千621万円となりました。

会員の加入促進のため、地域の各店舗に協力を呼びかけ、会員のみ対象とした各種サービスの提供を受けることが出来る優遇制度を構築し、令和3年4月からスタートいたしました。

また、当センターでは、事業情報の要である会報『いぶしきん』の発行やホームページのリニューアル、フェイスブックの開始や入会説明会用DVDの制作、町の『広報ながいづみ』の活用等を通じ、広報活動に力を入れております。

「安全は全てに優先する」と言う考え方の基に、就業中や就業途上等の事故防止のため、安全委員会が中心となり安全パトロールを実施し、蜂の抗体検査実施やエビペン所持の徹底等の種々な安全対策を実行いたしました。

今後とも、シルバー人材センターの理念である「自主・自立、共働・共助」の精神をモットーに役職員と会員が連携を図り、更に関係機関のご支援を得ながら地域社会のニーズに応えられる事業展開をしてまいります。

以下、令和2年度事業実施状況について報告いたします。

## 1 組織の拡大強化

毎月20日の入会説明会に第一土曜日を新たに加え、月2回実施し、三島ハローワークでは仕事相談会を4回実施して入会機会の増加に努め、会報『いぶしぎん』や町の『広報ながいづみ』等にもシルバー人材センターの業務内容と会員募集を掲載し、町内へのPRや会員からの紹介活動を実施いたしました。結果的に新規入会者数は、昨年度の21人から14人増加して35人となり、会員総数は334名でした。なお、病気や加齢などによる退会者が38人いたため、前年比では3人の減となっています。

「新入会員拡大の推進に関する報奨制度」を利用した入会者は6人に止まりましたが、仮登録制度により登録をした方は63人おり、この内仕事を紹介し、会員となった方が24人おりました。

また、永続的会員の確保のため、何か会員限定の特典づくりが出来ないかと検討を進めてきましたが、長泉町商工会の協力や役員・会員の活動により、会員のみが地元商店等から受けることが出来るサービスを15店舗と1直営店から提供いただけることになり、その各サービスが一冊にまとめられた『得々ガイド』を令和3年4月に創刊することができました。今後は、参画していただく店舗を更に増やしていき、会員に確保につなげていければと期待しています。

令和2年3月、就業事業の拡大も兼ね、リフォームひまわりの会員を中心となって、マスクの製作を開始いたしました。新型コロナ感染の拡大によりマスク不足が社会問題となった頃、いち早く会員1世帯に3枚を提供いたしました。6月末までに2,500枚作製することができたため、会員以外のマスク不足で困っている方々にも提供できるようになり、公益法人としての役割も果たす事ができました。

マスクに同封した「マスク製作会員の募集」案内により、新たに会員2人が加入していただきました。今後は、この様な活動を通じても積極的に会員募集を展開していきたいと思っています。

## 2 事業実績

コロナ禍で経済情勢が厳しい中、受託事業の維持と派遣事業への切り替えに努力しました。

請負の事業収入は1億3千430万円余りで、前年度に比べて4.1%減、金額で577万円減となり、派遣事業については5千190万円で、前年度に比べ19.8%859万円の増となり、合計では1.5%281万円増の1億8千621万円となりました。

また、請負での就業延人員は26,174人で、前年度に比べ2,635人減少となりましたが、派遣事業の就業延人員7,322人を加えると33,496人で、合計では1,606人の減となりました。

事務費は、855万円で、17.5%127万円増、派遣手数料は、469万円で、18.9%75万円増、合計では1千324万円で、18.0%202万円の増となりました。これは、令和元年10月からの事務費（5%から8%へ）の引上げと、派遣への切り替（派遣比率前年23.6%から27.8%へ）及び、ごみ料金の引上げ等原材料費の適正化が主な増加の原因です。

## 3 広報活動

シルバー人材センターの事業内容及び活動状況等を掲載した会報『いぶしぎん』を2回発行し、各区や関係者の協力を得て町内回覧を行いました。

また、『事務局だより』を3回発行し、各講習会や行事の案内・募集、事務局からのお願い等の連絡を行いました。「新型コロナウイルス感染防止パンフレット」

も同封して感染予防の周知も実施いたしました。

8月には、ホームページをリニューアルし、常に最新の情報が閲覧でき、入会受付もホームページから出来るようになり、12月からは、フェイスブックも開始いたしました。

長泉版の入会説明会用DVDも今年度作成いたしました。

#### 4 就業機会の拡大、就業開拓

コロナ禍で、就業機会の拡大が望めない中、既存受託事業の維持に力点を置き、欠員が生じ際には、仮登録会員を紹介する等対処し、欠員を生じさせないよう就業機会の維持に努めました。

また、昨年度から取り組んでいる軽作業の就業開拓として、封入封緘作業や会報配布の作業も、延べ15名の会員の協力により実施することができました。

#### 5 講習会、研修会等

##### (1) 主催した会員講習会等

###### ① 入会説明会及び講習会時の入会説明

入会の希望者に対して毎月20日と第一土曜日に説明会を開催し、各種講習会やお仕事相談会で入会説明を行い、仮登録や本登録をして頂きました。

入会説明会及び講習会出席者 72人

仮登録 63人（うち入会者24人） 年度末仮登録者39人

2年度入会者数 35人

###### ② 交通安全講習会

新型コロナ感染防止の為講習会は中止となりました。

###### ③ 独自事業

○リフォームひまわり 延245人 344,580円

○手作り班 延2人 1,400円

○木工班 延40人 6,600円

○篆刻講習 開催 27回

参加者 延117人

○フラワーアレンジメント講習

開催 5回

参加者 延 41人

###### ④ スマホ教室

初心者のスマホセミナーをドコモショップ長泉店とソフトバンク懇の講師により2回開催。

・ソフトバンク（アイフォン） 令和3年2月25日 10人受講

・ドコモ（アンドロイド） 3月10日 10人受講

###### ⑤ 植木剪定技能講習（県講習）

・植木剪定講習 令和2年9月28日～10月5日（5日間）（加々見園）  
14人受講（会員8人 非会員6人）

・刈払機講習 1人受講

###### ⑥ 家事援助、介護スタッフ補助講習（県講習）

・アイケアセンター 令和2年10月20日・21日  
6人受講（会員2人 非会員4人）

⑦ マンション管理講習  
・L L Pマンションサポート 令和2年11月16日・17日  
13人受講（会員6人 非会員7人）

## （2）役職員等会議研修会

4月20日	県シ連事務局長会議（コロナ感染防止中止）	静岡市
6月11日	東海シ連総会（委任状提出）	鳥羽市
6月22日	県シ連総会（書面表決）	静岡市
7月28日	東海シ連職員研修（ZOOM参加）	名古屋市
8月6日	東部ブロック役員会	伊豆の国市
9月4、10日	子育て支援研修（職員及び会員1人）	沼津市
10月2日	県シ連事務局長会議	静岡市
10月19日	ZOOM研修会（ZOOM参加）	静岡市
11月18日	東部ブロック事務局長会	伊豆の国市
12月7日	安全・適正就業研修会	静岡市
1月28日	県シ連事務局長会議	静岡市
2月7日	県シ連事務局長会議	静岡市

## 6 地域社会奉仕活動

（1）ボランティア町内一斉美化活動  
雨天のため中止

（2）桜堤遊歩道の清掃ボランティアとウォーキング  
桜堤遊歩道をウォーキングしながら、ごみ拾い等の清掃ボランティア活動  
として、毎月1回第3水曜日に実施。（清掃用具は事務所に用意）  
9回 〈参加者〉 96人

（3）長泉中学校あつたか体験学習へのボランティア講師  
感染防止の為中止

## 7 会議関係

### （1）総会

第9回定期総会（書面表決）  
開催日時 令和2年6月26日（金）9：00～  
開催場所 長泉町シルバーワークプラザ 2階  
出席会員数 283人（うち議決権行使書による書面表決者278人）  
会員数 338人 合計出席率 83.7%  
第1号議案 令和元年度収支決算について

### （2）理事会

第1回 令和2年5月18日  
第1号 令和2年度定期総会の日程、場所等について  
第2号 令和元年度監査報告について  
第3号 令和元年度事業報告承認について（総会報告事項）

第4号 令和元年度収支決算承認について (総会第1号議案)  
第2回 令和2年7月27日  
報告事項のみ (総会報告、植木等予約制開始、峰の抗体検査実施、長泉商工会加入等)  
第3回 令和2年9月28日  
報告事項のみ (町内一斉清掃ボランティア、まる得制度他)  
第4回 令和2年11月30日  
報告事項のみ (衛生委員会と産業医、各種規程改正予定、新入会員の会費月割制、ふれあい文化祭実施の可否判断他)  
第5回 令和3年1月18日  
第1号 会員会費規程の一部改正について  
第2号 令和3年度定時総会の日程、場所及び目的である事項の決定について  
第3号 職員の退職年齢の引上げ等諸規定の改正について  
第6回 令和3年3月22日  
第1号 臨時職員の給与、勤務時間等に関する規程の一部改正  
第2号 衛生管理規程、衛生委員会運営規程の制定について  
第3号 資産取得資金の積立について  
第4号 令和3年度事業計画について  
第5号 令和3年度収支予算について

(3) 各部会等

- ① 総務部会 9月28日 年間事業計画、まる得本について  
1月14日 新入会員の月割り、職員の退職年齢引上げ  
得々クーポン  
3月17日 臨時職員規程、衛生委員会規則の制定、得々クーポン直営店の割引額の補助について  
② 事業部会 11月30日 現状の把握と課題の整理  
1月18日 同好会や特技のアンケート調査について  
③ ふれあい文化祭実行委員会 1月12日 実施可否の決定 (2/4判断)

(4) 業務執行状況及び会計監査

○令和元年度分会計及び業務監査 (当センター監事) 令和2.5.8

(5) 地域班長会

- 第1回 R2.6.1 • 定時総会について (書面表決)  
• 地域懇談会中止について  
• 秋の研修旅行について

## 8 安全活動の状況

(1) 安全委員会

- 第1回 R2.9.30  
令和元年度事故発生状況について  
令和2年度の安全就業実施計画について  
第2回 R3.3.23  
令和2年度の事故発生状況について  
令和3年度の安全就業実施計画について

(2) 安全就業パトロール

一般家庭、企業、公共施設の草刈、草取り、剪定作業現場を巡回し、ヘルメット、安全ベルトの着用、作業時の服装、脚立の掛け方等についてチェックし、会員の安全就業状況を確認しました。

R2.11.30 1箇所

(3) 職員による日常パトロール R2.4~R3.3 4箇所

(4) 安全適正就業推進研修会 R2.12.7 静岡市

「死亡事故に学ぶ」「事故発生時の対応」講演と事例発表 職員2人が参加しました。

(5) 蜂の抗体検査とショック緩和剤エピペンの所持

過去に蜂刺されにより抗体ができている場合、再度の蜂刺されによりアナフィラキシーショックで、数分から數十分で呼吸困難等、重篤な症状を起こす事があるため、このような状態を回避する目的で、植木、草刈り会員は、抗体検査とショックの緩和剤の注射器(エピペン)を所持する事としました。

2年度から配分金の単価を30円/時間、引上げを行いこの費用を賄う事としましたが、初回はシルバーで5000円/人を負担する事としました。

検査実施日 7月2~12日 34人 シルバーの負担額 136,770円

(6) 植木剪定の剪定可能な樹高の周知

令和3年4月から、幹の天端4m以上の剪定ができなくなることから、受注時及び予約票送付時、請求書送付時等あらゆる理解に周知を図り、会員の安全確保のため、お客様のご理解をお願いした。

(7) 熱中症対策

8月8~18日の11日間パッカー車によるごみ回収を休み、併せて植木、草刈り、草取り作業も原則休みとした。

受注時に直接お客様にお願いし、夏季期間中の休憩回数の確保と水分補給に理解をお願いした。又、WBGT値(暑さ指数)31℃以上はパトロールを実施して、危険回避を徹底した。他に会員には瞬間冷却材を配布した。

(8) 安全就業の徹底

安全対策は、就業中や就業途上の交通事故等の事故防止のため安全パトロールや、会報「いぶしげん」などによる啓蒙、夏季猛暑時には、巡回活動を行い熱中症対策に努め、事故ゼロを目指してまいりました。

令和2年度の事故は5件で前年度と比べて3件減少しました。事故種別は次表のとおりです。

令和2年度 月別事故状況

月 種別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
傷害	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	3
物損	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
交通事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	1	1	0	0	2	0	1	0	0	0	0	5

【内訳】：傷害事故：屋外軽作業中の事故 1件 屋内軽作業中の事故 1件  
剪定作業中の虫さされ事故 1件（うち蜂・茶毒蛾 1件）  
物損事故：草刈り中の飛石事故 1件 植木剪定時の事故 1件

(9) 全会員に対して「健康状況調査」を実施して、健康状態の把握に努めた。

(10) 植木、草刈り、草取り予約制の導入

2年度から、繁忙期における会員の負担軽減と、就業の均一化を目的に、過去2年間の受注実績のあるお客様に、事前予約のための「予約依頼書」4月20日に送付、5月末までに受注を受け付けた。又、3年度は、1月19日に依頼書送付、3月1日までに受注を受け付けた。併せて3年度は、アンケートを同封して、お客様と会員の情報共有を図った。

（予約状況）

令和2年度分	植木剪定	283 件	草刈り	59 件	草取り	66 件
令和3年度分	植木剪定	221 件	草刈り	36 件	草取り	33 件

8 地域懇談会 新型コロナ感染防止の為、中止とした。

9 地域社会行事等参加

新型コロナ感染防止の為、全てのイベントが中止となりました。

## 10 会員研修旅行

会員同士の交流と研鑽により、就業意欲の向上を目指し実施している、会員の研修旅行は、新型コロナウイルス感染防止のため、密を避け、少人数で実施する事となり、地元「クレマチスの丘、3館ウォーキングと駿河平自然公園の秋」と題して1グループ25人以内の募集で4回に分けて企画しました。又、クレマチスの丘には、会員24人が働いており、職場見学を兼ねる研修となりました。

参加者 45人

## 11 シルバー派遣事業

法令遵守に基づく適正就業の推進により、派遣就業実人員は、昨年から10人増加して69人となり、全体の就業実人員298人の内、派遣が23.2%を占めました。

(1) 前年比実績

派遣事業所9社（前年9） 就業延人数 7,322人（前年6,293）

就業実人数69人（前年59） 派遣契約実績 51,906,933円（前年43,319,100）

※就業実人員の内請負との重複は25人

(2) キャリアアップ研修

就業から9か月以上の派遣を対象に行うキャリアアップ研修を2回に分けて開催した。

10月13日 健康増進課講師 「新型コロナ感染防止について」

(20人参加)	事務局	「派遣就業の心得」「転倒予防体操」
10月21日	地域防災課講師	「災害と避難所で密を避ける」
(22人参加)	事務局	「派遣就業の心得」「転倒予防体操」

## 12 財政健全化の取組

平成30年度決算で、6,507,180円の赤字を計上し、2年連続の赤字決算となり、正味財産期末残高も12,073,081円に減少し財政がひっ迫した事から、財政健全化に取組み、令和元年度は、1,499,704円の黒字に転換、令和2年度は、5,923,646円の黒字となり、正味財産期末残高も7,423,350円増加し、19,506,429円となりました。

### 主な対策（令和元～2年度）

- ・事務局負担の材料費見直し、車両買換え抑制、人件費の抑制
- ・事務費の引上げ 元年10月より5%を8%に  
(2年度 前年比 受取事務費 1,274,940円増)
- ・ごみ料金の見直し 元年12月から12,000円を16,000円に  
(2年度 前年比 受取-支払材料費 2,370,349円増)
- ・派遣受託収益の増  
(2年度 前年比 745,638円増)
- ・財政調整基金の積立て環境の整備
- ・財産増加策の実行

### 〈参考 保有財産のピーク時〉 平成28年度決算

正味財産期末残高	22,029,149円
財政運営資金積立金	12,400,000円

## 令和2年度事業報告 附属明細書

令和2年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項」に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

## 会員の現況

令和3年3月末現在

会員の年齢別構成表

年齢(歳)	男性	女性	合計	構成比
~59	0	0	0	0.0%
60~64	4	5	9	2.7%
65~69	27	23	50	15.0%
70~74	67	45	112	33.5%
75~79	59	41	100	29.9%
80~	37	26	63	18.9%
合計	194	140	334	100%
構成比	58.1%	41.9%	100%	

会員の平均年齢

男性	女性	合計
75.4歳	74.8歳	75.2歳

会員の最高年齢

男性	女性
91歳	88歳

会員入退会状況

区分	入会		退会		合計	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
期初会員数					193	144
期中入退会	21	15	20	19	1	-4
期末会員数					194	140
期初会員337名	入会	36名	退会	39名	総会員数	334名

退会者理由別人員

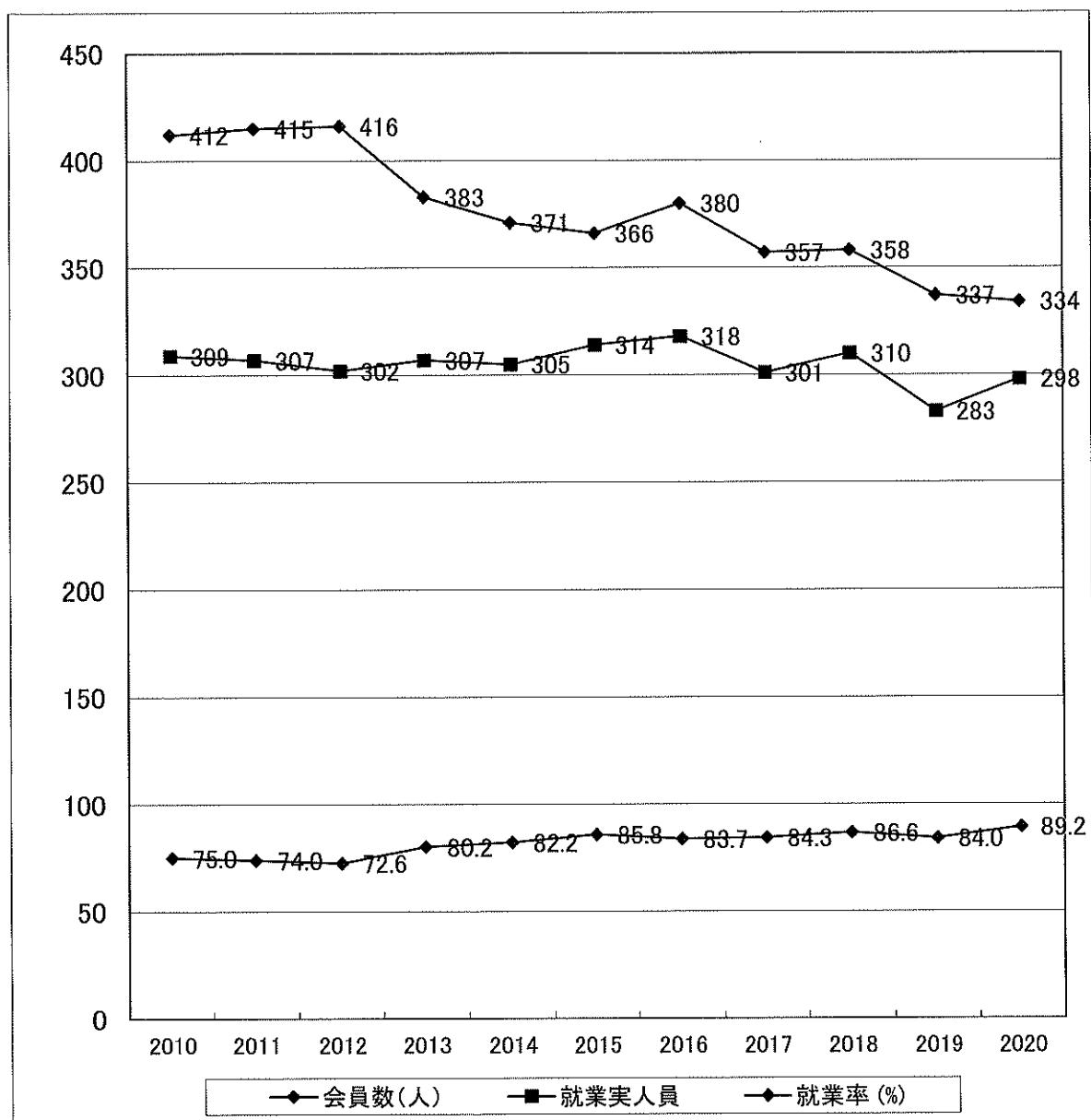
区分	男性	女性	合計
病気のため	6	5	11
就職のため	2	1	3
死亡のため	1	1	2
仕事がない	1	2	3
家庭の事情	0	3	3
加齢	3	4	7
その他	7	3	10
合計	20	19	39

在会期間別会員数

区分	男性	女性	合計
1年未満	21	14	35
1年~2年未満	12	4	16
2年~4年未満	29	19	48
4年~6年未満	21	27	48
6年~8年未満	27	14	41
8年~10年未満	18	14	32
10年以上	66	48	114
合計	194	140	334

年度別 会員数、就業率推移

平成令和	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2
西暦	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
会員数(人)	412	415	416	383	371	366	380	357	358	337	334
就業実人員	309	307	302	307	305	314	318	301	310	283	298
就業率(%)	75.0	74.0	72.6	80.2	82.2	85.8	83.7	84.3	86.6	84.0	89.2



平成2(2020)年度 月別事業実績(1)

月	会員数	請負契約金額(単位:円)								累計	
		就業実人員	就業率	事業	受託件数	就業延人員	配分金	材料費等	事務費		
4	337			公	18	348	1,666,864	125,796	131,530	1,924,190	1,924,190
	337	178	52.8%	民	138	1,473	5,706,163	588,919	432,942	6,728,024	6,728,024
				計	156	1,821	7,373,027	714,715	564,472	8,652,214	8,652,214
5				公	34	434	2,224,000	438,820	174,214	2,837,034	4,761,224
	339	188	55.5%	民	199	1,700	6,622,707	748,800	493,699	7,865,206	14,593,230
				計	233	2,134	8,846,707	1,187,620	667,913	10,702,240	19,354,454
6				公	34	604	3,118,026	513,190	244,172	3,875,388	8,636,612
	339	196	57.8%	民	245	1,885	7,644,628	989,863	565,591	9,200,082	23,793,312
				計	279	2,489	10,762,654	1,503,053	809,763	13,075,470	32,429,924
7				公	27	539	2,631,001	259,648	207,438	3,098,087	11,734,699
	338	193	57.1%	民	191	1,794	7,403,672	1,015,040	554,023	8,972,735	32,766,047
				計	218	2,333	10,034,673	1,274,688	761,461	12,070,822	44,500,746
8				公	36	572	2,825,149	529,439	221,345	3,575,933	15,310,632
	335	193	57.6%	民	204	1,799	7,881,204	952,291	589,914	9,423,409	42,189,456
				計	240	2,371	10,706,353	1,481,730	811,259	12,999,342	57,500,088
9				公	40	610	3,189,451	859,565	249,824	4,298,840	19,609,472
	342	199	58.2%	民	251	1,947	7,938,326	1,030,959	585,202	9,554,487	51,743,943
				計	291	2,557	11,127,777	1,890,524	835,026	13,853,327	71,353,415
10				公	42	701	3,642,049	677,925	284,690	4,604,664	24,214,136
	344	197	57.3%	民	217	1,893	7,981,904	905,883	590,953	9,478,740	61,222,683
				計	259	2,594	11,623,953	1,583,808	875,643	14,083,404	85,436,819
11				公	29	475	2,225,879	261,652	175,192	2,662,723	26,876,859
	344	192	55.8%	民	230	1,868	8,487,394	948,219	624,643	10,060,256	71,282,939
				計	259	2,343	10,713,273	1,209,871	799,835	12,722,979	98,159,798
12				公	31	480	2,242,513	365,887	175,675	2,784,075	29,660,934
	347	191	55.0%	民	190	1,662	7,095,949	1,168,796	526,629	8,791,374	80,074,313
				計	221	2,142	9,338,462	1,534,683	702,304	11,575,449	109,735,247
1				公	22	437	2,016,543	191,686	157,796	2,366,025	32,026,959
	345	169	49.0%	民	101	1,151	4,465,861	227,069	332,794	5,025,724	85,100,037
				計	123	1,588	6,482,404	418,755	490,590	7,391,749	117,126,996
2				公	28	474	2,195,806	327,687	172,526	2,696,019	34,722,978
	345	174	50.4%	民	143	1,365	4,980,535	198,572	371,352	5,550,459	90,650,496
				計	171	1,839	7,176,341	526,259	543,878	8,246,478	125,373,474
3				公	26	481	2,138,876	205,222	168,902	2,513,000	37,235,978
	334	176	52.7%	民	140	1,482	5,710,760	278,294	429,948	6,419,002	97,069,498
				計	166	1,963	7,849,636	483,516	598,850	8,932,002	134,305,476
計				公	367	6,155	30,116,157	4,756,517	2,363,304	37,235,978	
	334	254	76.0%	民	2,249	20,019	81,919,103	9,052,705	6,097,690	97,069,498	
				計	2,616	26,174	112,035,260	13,809,222	8,460,994	134,305,476	
月平均				公	31	513	2,509,680	396,376	196,942	3,102,998	
				民	187	1,668	6,826,592	754,392	508,141	8,089,125	
				計	218	2,181	9,336,272	1,150,769	705,083	11,192,123	

民間…企業+家庭+独自

令和2(2020)年度 月別事業実績(2)

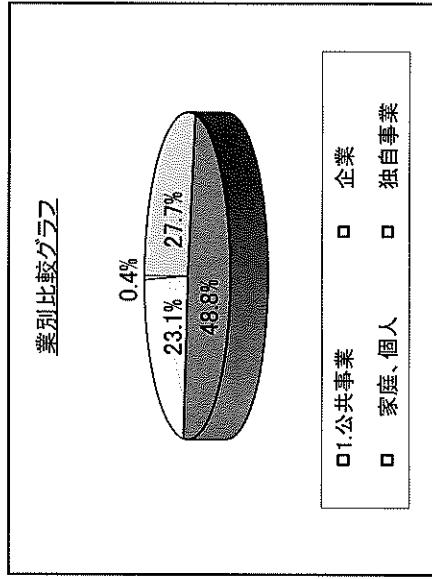
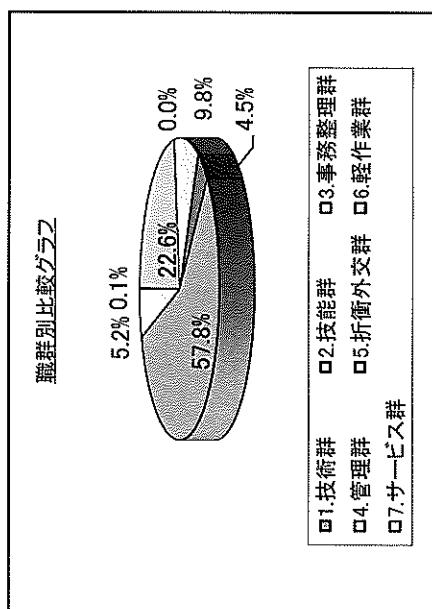
月	派遣			派遣+請負		
	就業実人員	就業延人員	契約金額	就業実人員合計	就業延人員合計	契約金額合計
4					348	1,924,190
	53	542	3,794,751	231	2,015	10,522,775
					2,363	12,446,965
5					434	2,837,034
	52	510	3,504,400	240	2,210	11,369,606
					2,644	14,206,640
6					604	3,875,388
	57	655	4,702,923	253	2,540	13,903,005
					3,144	17,778,393
7					539	3,098,087
	59	653	4,548,689	252	2,447	13,521,424
					2,986	16,619,511
8					572	3,575,933
	59	625	4,631,645	252	2,424	14,055,054
					2,996	17,630,987
9					610	4,298,840
	59	624	4,457,761	258	2,571	14,012,248
					3,181	18,311,088
10					701	4,604,664
	61	668	4,706,679	258	2,561	14,185,419
					3,262	18,790,083
11					475	2,662,723
	61	629	4,431,236	253	2,497	14,491,492
					2,972	17,154,215
12					480	2,784,075
	60	650	4,502,964	251	2,312	13,294,338
					2,792	16,078,413
1					437	2,366,025
	58	573	4,142,444	227	1,724	9,168,168
					2,161	11,534,193
2					474	2,696,019
	56	545	3,826,688	230	1,910	9,377,147
					2,384	12,073,166
3					481	2,513,000
	56	648	4,656,753	232	2,130	11,075,755
					2,611	13,588,755
(派遣実人員) 計 (注1)	69				6,155	37,235,978
	44	7,322	51,906,933	298	27,341	148,976,431
		7,322	51,906,933	89.2%	33,496	186,212,409
月 平 均	公				513	3,102,998
	民	610	4,325,578		2,278	12,414,703
	計	610	4,325,578		2,791	15,517,701

(注1)派遣の実人員計は、派遣実人員数から請負を重複して就業している人数を引いてあります。

## 職群別・公共民間別事業実績

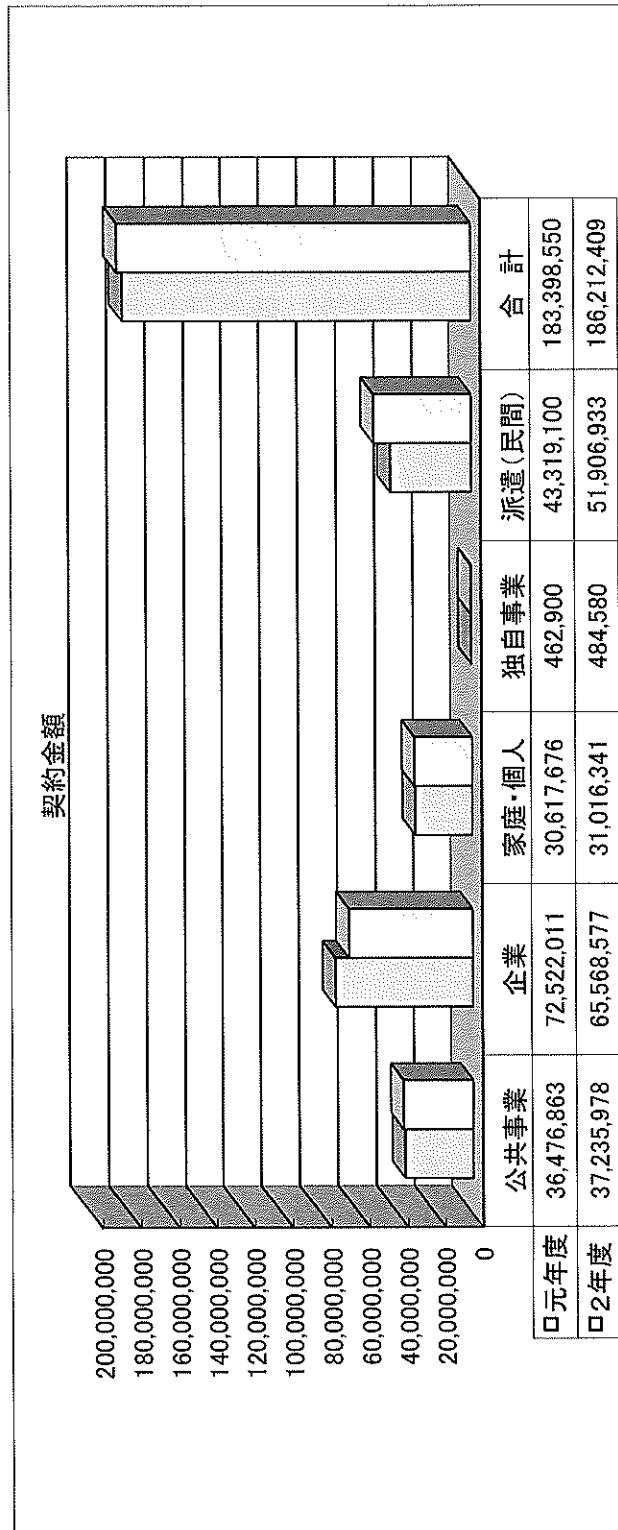
令和2(2020)年4月1日～令和3(2021)年3月31日

事項及び区分	受注件数	就業延人員	契約金額				(単位:円)
			配分金	材料費等	事務費	合計	
職群別内 容	1.技術群	3	38	60,930	77,000	4,070	142,000 0.1%
	2.技能群	671	3,743	21,341,246	7,412,758	1,599,650	30,353,654 22.6%
	3.事務整理群	3	13	22,302	0	1,784	24,086 0.0%
	4.管理群	12	2,482	11,810,180	459,964	923,665	13,193,809 9.8%
	5.折衝外交群	4	1,567	5,639,284	0	449,526	6,088,810 4.5%
	6.軽作業群	677	15,651	66,748,312	5,812,388	5,000,526	77,561,226 57.8%
	7.サービス群	68	2,680	6,413,006	47,112	481,773	6,941,891 5.2%
合計			1,438	26,174	112,035,260	13,809,222	8,460,994 134,305,476 100.0%
公共民間別	1.公共事業	177	6,155	30,116,157	4,756,517	2,363,304	37,235,978 27.7%
	2.民間事業	1,261	20,019	81,919,103	9,052,705	6,097,690	97,069,498 72.3%
	企業	256	14,112	57,108,705	4,004,746	4,455,126	65,568,577 48.8%
	家庭、個人	1,000	5,617	24,442,513	4,960,763	1,613,065	31,016,341 23.1%
	独自事業	5	290	367,885	87,196	29,499	484,580 0.4%
	合計	1,438	26,174	112,035,260	13,809,222	8,460,994	134,305,476 100.0%



## 契約高前年度(2019:2020)対比

区分	就業延人員			受注件数			契約金額 (単位:円)		
	元年度	2年度	前年対比	元年度	2年度	前年対比	元年度	2年度	前年対比
公共事業	6,525	6,155	94.3%	170	177	104.1%	36,476,863	37,235,978	102.1%
民間事業	22,284	20,019	89.8%	1,388	1,261	90.9%	103,602,587	97,069,498	93.7%
企業	15,635	14,112	90.3%	262	256	97.7%	72,522,011	65,568,577	90.4%
家庭・個人	6,339	5,617	88.6%	1,121	1,000	89.2%	30,617,676	31,016,341	101.3%
独自事業	310	290	93.5%	5	5	100.0%	462,900	484,580	104.7%
派遣(民間)	6,293	7,322	116.4%	17	19	111.8%	43,319,100	51,906,933	119.8%
合計	35,102	33,496	95.4%	1,575	1,457	92.5%	183,398,550	186,212,409	101.5%



## 贊助会員名簿

令和3(2021)年3月31日（順不同・敬称略）

贊助会員名	所在地
コイト電工(株) 富士長泉工場	長泉町南一色
南駿農業協同組合 長泉支店	" 下土狩
帝人(株) 三島事業所	" 上土狩
東レ(株) 三島工場	三島市
特種東海製紙(株)	長泉町本宿
長泉町商工会	" 下土狩
日商産業(株)	" 東野
深澤電工(株)	" 桜堤
三島信用金庫 下土狩支店	" 下土狩
(株)山口製作所	沼津市足高
(株)不二精機製造所	長泉町下土狩
(有)井出園芸	" 元長窪
(株)山本	" 下土狩
長泉環境(株)	" 本宿
(株)スワベ商会	" 下土狩
(株)三島ダイハツ	" 下土狩
山一金属(株)	" 本宿
西島農機	" 納米里
三島燃料(株)	" 下土狩
大静高圧(株)	" 本宿
(株)共同開発	" 下土狩
(株)米山製作所	" 納米里
杉山 清策	" 下土狩

第1号議案

令和2(2020)年度収支決算について

令和2(2020)年度公益社団法人長泉町シルバー人材センター収支決算について、  
定款第36条第2項の規定により承認を求める。

令和3(2021)年 6月25日提出

公益社団法人長泉町シルバー人材センター

理事長 内田 将善

貸借対照表  
令和 3(2021)年 3月31日現在

科目	当年度	前年度	(単位：円) 増減
<b>I 資産の部</b>			
<b>1. 流動資産</b>			
現金	88,863	71,950	16,913
当座預金	1,895,683	6,812,679	△ 4,916,996
普通預金	13,593,305	3,361,565	10,231,740
未収金	11,128,292	11,004,667	123,625
仮払金	0	0	0
立替金	9,000	12,000	△ 3,000
前払金	0	22,000	△ 22,000
<b>流動資産合計</b>	<b>26,715,143</b>	<b>21,284,861</b>	<b>5,430,282</b>
<b>2. 固定資産</b>			
(1) 基本財産			
減価償却引当資産	0	0	0
<b>基本財産合計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	0	0	0
減価償却引当資産	1,072,673	1,072,673	0
固定資産取得積立資産	1,317,814	0	1,317,814
財政運営資金積立資産	0	0	0
<b>特定資産合計</b>	<b>2,390,487</b>	<b>1,072,673</b>	<b>1,317,814</b>
(3) その他固定資産			
土地	0	0	0
建物	0	0	0
構築物	0	0	0
車輌運搬具	140,141	30,322	109,819
什器備品	82,659	114,128	△ 31,469
出資金	10,000	10,000	0
電話加入権	224,224	224,224	0
敷金	0	0	0
保証金	0	0	0
預託金	58,130	56,090	2,040
<b>その他固定資産合計</b>	<b>515,154</b>	<b>434,764</b>	<b>80,390</b>
<b>固定資産合計</b>	<b>2,905,641</b>	<b>1,507,437</b>	<b>1,398,204</b>
<b>資産合計</b>	<b>29,620,784</b>	<b>22,792,298</b>	<b>6,828,486</b>
<b>II 負債の部</b>			
<b>1. 流動負債</b>			
未払金	9,511,828	8,794,495	717,333
前受金	426,101	46,531	379,570
預り金	176,426	378,487	△ 202,061
仮受金	0	0	0
短期借入金	0	0	0
<b>流動負債合計</b>	<b>10,114,355</b>	<b>9,219,513</b>	<b>894,842</b>
<b>2. 固定負債</b>			
退職給付引当金	0	0	0
<b>固定負債合計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>負債合計</b>	<b>10,114,355</b>	<b>9,219,513</b>	<b>894,842</b>
<b>III 正味財産の部</b>			
<b>1. 指定正味財産</b>			
(うち基本財産への充当額)	( 0 )	( 0 )	( 0 )
(うち特定資産への充当額)	( 0 )	( 0 )	( 0 )
<b>2. 一般正味財産</b>	<b>19,506,429</b>	<b>13,572,785</b>	<b>5,933,644</b>
(うち基本財産への充当額)	( 0 )	( 0 )	( 0 )
(うち特定資産への充当額)	( 2,390,487 )	( 1,072,673 )	( 1,317,814 )
<b>正味財産合計</b>	<b>19,506,429</b>	<b>13,572,785</b>	<b>5,933,644</b>
<b>負債及び正味財産合計</b>	<b>29,620,784</b>	<b>22,792,298</b>	<b>6,828,486</b>

# 正味財産増減計算書

令和2(2020)年 4月 1日から令和3(2021)年 3月31日まで

(単位 : 円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受託事業収益	134,391,841	140,079,450	△ 5,687,609
受取配分金	112,035,260	123,182,304	△ 11,147,044
受取材料費等	13,809,222	9,624,727	4,184,495
受取事務費	8,547,359	7,272,419	1,274,940
施設管理委託収益	755,000	727,000	28,000
施設管理委託収益	755,000	727,000	28,000
労働者派遣事業等受託収益	4,693,148	3,947,510	745,638
労働者派遣事業等受託収益	4,693,148	3,947,510	745,638
有料職業紹介事業受託収益	34,497	46,540	△ 12,043
有料職業紹介事業受託収益	34,497	46,540	△ 12,043
受取会費	881,000	938,000	△ 57,000
正会員受取会費	686,000	708,000	△ 22,000
賛助会員受取会費	195,000	230,000	△ 35,000
受取補助金等	27,224,880	25,889,000	1,335,880
受取連合交付金	13,500,000	12,389,000	1,111,000
受取(町)補助金	13,724,880	13,500,000	224,880
受取寄附金	0	100,000	△ 100,000
受取寄附金	0	100,000	△ 100,000
特定資産運用益	107	107	0
特定資産受取利息	107	107	0
雑収益	4,343	3,431	912
受取利息	43	31	12
雑収益	4,300	3,400	900
経常収益計	167,984,816	171,731,038	△ 3,746,222
(2) 経常費用			
事業費	159,664,255	166,263,872	△ 6,599,617
支払配分金	112,035,260	123,182,304	△ 11,147,044
支払材料費等	11,192,573	9,378,427	1,814,146
給料手当	7,385,904	6,908,377	477,527
臨時雇賃金	0	0	0
法定福利費	3,393,565	3,264,854	128,711
退職給付費用	1,373,472	930,000	443,472
福利厚生費	75,473	32,614	42,859
会議費	0	101,318	△ 101,318
旅費交通費	205,200	329,719	△ 124,519
通信運搬費	699,806	480,247	219,559
減価償却費	201,918	1,053,806	△ 851,888
消耗什器備品費	123,500	0	123,500
消耗品費	812,144	837,083	△ 24,939
修繕費	189,086	43,132	145,954
印刷製本費	456,500	234,051	222,449
光熱水料費	581,181	590,399	△ 9,218
賃借料	1,601,285	1,517,732	83,553
保険料	1,529,771	1,728,023	△ 198,252
諸謝金	14,750,174	13,256,486	1,493,688
租税公課	668,543	420,739	247,804
支払負担金	0	14,000	△ 14,000
委託費	2,247,791	1,930,572	317,219
教材費	0	0	0
支払手数料	4,339	25,589	△ 21,250
雑費	136,770	4,400	132,370
管理費	2,396,915	3,967,462	△ 1,570,547
給料手当	426,211	1,315,224	△ 889,013
臨時雇賃金	0	0	0

## 正味財産増減計算書

令和2(2020)年 4月 1日から令和3(2021)年 3月31日まで

(単位 : 円)

科目	当年度	前年度	増減
法定福利費	70,184	236,985	△ 166,801
退職給付費用	34,914	90,000	△ 55,086
福利厚生費	42,767	57,836	△ 15,069
会議費	271,430	160,449	110,981
旅費交通費	269,420	434,020	△ 164,600
通信運搬費	65,042	92,139	△ 27,097
減価償却費	0	0	0
消耗什器備品費	0	0	0
消耗品費	23,381	37,142	△ 13,761
修繕費	0	4,792	△ 4,792
印刷製本費	135,300	157,680	△ 22,380
光熱水料費	14,304	65,599	△ 51,295
賃借料	64,516	224,633	△ 160,117
保険料	53,752	62,330	△ 8,578
諸謝金	0	0	0
租税公課	9,145	5,811	3,334
支払負担金	484,010	441,780	42,230
委託費	423,684	200,432	223,252
支払手数料	3,855	359,610	△ 355,755
雑費	5,000	21,000	△ 16,000
経常費用計	162,061,170	170,231,334	△ 8,170,164
評価損益等調整前当期経常増減額	5,923,646	1,499,704	4,423,942
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	5,923,646	1,499,704	4,423,942
<b>2. 経常外増減の部</b>			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	9,999	0	9,999
車両運搬具売却益	9,999	0	9,999
経常外収益計	9,999	0	9,999
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	0	0	0
過年度損失修正	1	0	1
過年度損失修正	0	0	0
固定資産過年度損失修正	1	0	1
経常外費用計	1	0	1
当期経常外増減額	9,998	0	9,998
当期一般正味財産増減額	5,933,644	1,499,704	4,433,940
一般正味財産期首残高	13,572,785	12,073,081	1,499,704
一般正味財産期末残高	19,506,429	13,572,785	5,933,644
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
(1) 収益			
収益計	0	0	0
(2) 費用			
費用計	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>19,506,429</b>	<b>13,572,785</b>	<b>5,933,644</b>

## 正味財産増減計算書内訳表

令和2(2020)年 4月 1日から令和3(2021)年 3月31日まで

(単位 : 円)

科目	公益目的事業会計	法人会計	合計
	シルバー人材センター事業		
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受託事業収益	132,435,426	1,956,415	134,391,841
受取配分金	112,035,260	0	112,035,260
受取材料費等	13,809,222	0	13,809,222
受取事務費	6,590,944	1,956,415	8,547,359
施設管理委託収益	755,000	0	755,000
施設管理委託収益	755,000	0	755,000
労働者派遣事業等受託収益	4,693,148	0	4,693,148
労働者派遣事業等受託収益	4,693,148	0	4,693,148
有料職業紹介事業受託収益	34,497	0	34,497
有料職業紹介事業受託収益	34,497	0	34,497
受取会費	440,500	440,500	881,000
正会員受取会費	343,000	343,000	686,000
賛助会員受取会費	97,500	97,500	195,000
受取補助金等	27,224,880	0	27,224,880
受取連合交付金	13,500,000	0	13,500,000
受取(町)補助金	13,724,880	0	13,724,880
受取寄附金	0	0	0
受取寄附金	0	0	0
特定資産運用益	107	0	107
特定資産受取利息	107	0	107
雑収益	4,343	0	4,343
受取利息	43	0	43
雑収益	4,300	0	4,300
経常収益計	165,587,901	2,396,915	167,984,816
(2) 経常費用			
事業費	159,664,255	0	159,664,255
支払配分金	112,035,260	0	112,035,260
支払材料費等	11,192,573	0	11,192,573
給料手当	7,385,904	0	7,385,904
臨時雇賃金	0	0	0
法定福利費	3,393,565	0	3,393,565
退職給付費用	1,373,472	0	1,373,472
福利厚生費	75,473	0	75,473
会議費	0	0	0
旅費交通費	205,200	0	205,200
通信運搬費	699,806	0	699,806
減価償却費	201,918	0	201,918
消耗什器備品費	123,500	0	123,500
消耗品費	812,144	0	812,144
修繕費	189,086	0	189,086
印刷製本費	456,500	0	456,500
光熱水料費	581,181	0	581,181
賃借料	1,601,285	0	1,601,285
保険料	1,529,771	0	1,529,771
諸謝金	14,750,174	0	14,750,174
租税公課	668,543	0	668,543
支払負担金	0	0	0
委託費	2,247,791	0	2,247,791
教材費	0	0	0
支払手数料	4,339	0	4,339
雑費	136,770	0	136,770
管理費	0	2,396,915	2,396,915
給料手当	0	426,211	426,211
臨時雇賃金	0	0	0

# 正味財産増減計算書内訳表

令和2(2020)年 4月 1日から令和3(2021)年 3月31日まで

(単位 : 円)

科目	公益目的事業会計 シルバー人材センター事業	法人会計	合計
法定福利費	0	70,184	70,184
退職給付費用	0	34,914	34,914
福利厚生費	0	42,767	42,767
会議費	0	271,430	271,430
旅費交通費	0	269,420	269,420
通信運搬費	0	65,042	65,042
減価償却費	0	0	0
消耗什器備品費	0	0	0
消耗品費	0	23,381	23,381
修繕費	0	0	0
印刷製本費	0	135,300	135,300
光熱水料費	0	14,304	14,304
賃借料	0	64,516	64,516
保険料	0	53,752	53,752
諸謝金	0	0	0
租税公課	0	9,145	9,145
支払負担金	0	484,010	484,010
委託費	0	423,684	423,684
支払手数料	0	3,855	3,855
雜費	0	5,000	5,000
経常費用計	159,664,255	2,396,915	162,061,170
評価損益等調整前当期経常増減額	5,923,646	0	5,923,646
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	5,923,646	0	5,923,646
<b>2. 経常外増減の部</b>			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	9,999		9,999
車両運搬具売却益	9,999		9,999
経常外収益計	9,999	0	9,999
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	0	0	0
過年度損失修正	1		1
過年度損失修正	0		0
固定資産過年度損失修正	1		1
経常外費用計	1	0	1
当期経常外増減額	9,998	0	9,998
他会計振替前当期一般正味財産増減額	5,933,644	0	5,933,644
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	5,933,644	0	5,933,644
一般正味財産期首残高	13,523,195	49,590	13,572,785
一般正味財産期末残高	19,456,839	49,590	19,506,429
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
(1) 収益			
収益計	0	0	0
(2) 費用			
費用計	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>19,456,839</b>	<b>49,590</b>	<b>19,506,429</b>

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

(1) 会計処理の基準については、公益法人会計基準(平成20年基準)に準拠している。

(2) 固定資産の減価償却の方法

減価償却資産について、定率法により直接減価償却を実施している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税の会計処理は税込方式によっている。

### 2. 特定資産の増減及びその残高

特定資産の増減及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期残高	当期増加額	当期減少額	当期残高
特定資産				
減価償却引当資産	1,072,673	0	0	1,072,673
財政運営資金積立資産	0	0	0	0
固定資産取得積立資産	0	1,317,814	0	1,317,814
合 計	1,072,673	1,317,814	0	2,390,487

\* 特定資産は一般正味財産からの充当額である。

### 3. 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
車輌運搬具	11,202,493	11,062,352	140,141
什器備品	700,990	618,331	82,659
合 計	11,903,483	11,680,683	222,800

### 4. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び債権の当期末残高

(貸倒引当金を直接控除した残額のみを記載した場合)

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び債権の当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	債権金額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
未収金	11,128,292	0	11,128,292
合 計	11,128,292	0	11,128,292

## 5. 補助金の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は次のとおりである。

補助金の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	(単位:円) 貸借対照表上の記載区分
補助金						
運営費補助金	国	0	13,500,000	13,500,000	0	—
運営費補助金	町	0	13,724,000	13,724,000	0	—
合計		0	27,224,000	27,224,000	0	

## 附属明細書

### 1. 特定資産の明細

特定資産の明細については、財務諸表の注記に記載している。

## 財産目録

令和3(2021)年3月31日現在

(単位:円)

科 目	場所・物量等	使用目的等	金 額
<b>I 資産の部</b>			
<b>1 流動資産</b>			
現 金	手許有高	運転資金として	88,863
当座預金	南駿農業協同組合長泉支店	運転資金として	1,895,683
普通預金	南駿農業協同組合長泉支店	運転資金として	12,260,363
	三島信用金庫下土狩支店	運転資金として	1,332,822
	スルガ銀行下土狩駅支店	運転資金として	120
未 収 金		公益目的事業未収金として	11,128,292
立 替 金		公益目的事業立替金として	9,000
前 払 金		公益目的事業前払金として	0
<b>流動資産合計</b>			<b>26,715,143</b>
<b>2 固定資産</b>			
<b>(1) 特定資産</b>			
減価償却引当資産	定期預金・南駿農協長泉支店	減価償却資産買換え資金として管理	1,072,673
財政運営資金積立資産	普通預金・南駿農協長泉支店	財政安定資金として管理	0
固定資産取得積立資産	普通預金・南駿農協長泉支店	固定資産を取得する資金として	1,317,814
<b>特定資産合計</b>			<b>2,390,487</b>
<b>(2) その他の固定資産</b>			
車両運搬具	車両 8台	公益目的保有財産であり、 公益目的事業用として	140,141
什器備品	ショーケース1台 他	公益目的保有財産であり、 公益目的事業用として	82,659
出資金	三島信用金庫下土狩支店	公益目的事業用として	10,000
電話加入権	3回線	(共用財産)公益目的保有財産 であり、公益目的事業用と管理 運営の用に供している。	224,224
預託金		公益目的事業用として、 自動車リサイクル料金	58,130
<b>その他固定資産合計</b>			<b>515,154</b>
<b>固定資産合計</b>			<b>2,905,641</b>
<b>資産合計</b>			<b>29,620,784</b>
<b>II 負債の部</b>			
<b>1 流動負債</b>			
未 払 金	会員	3月分配分金他	9,511,828
前 受 金	会員	次年度会費他前受金	426,101
預 り 金	社員	社会保険料等の預り金	176,426
仮 受 金		公益目的事業仮受金として	0
<b>流動負債合計</b>			<b>10,114,355</b>
<b>負債合計</b>			<b>10,114,355</b>
<b>正味財産</b>			<b>19,506,429</b>

役員（理事・監事）の選任について

公益社団法人長泉町シルバー人材センター役員（理事・監事）の選任について、定款第21条の規定により承認を求める。

令和3年 6月25日提出

公益社団法人長泉町シルバー人材センター  
理事長 内田 将善

役員候補者名簿

任期 令和3年定時総会時～令和5年定時総会時

番号	役職名	候補者氏名	住所
1	理事	高橋 忠昭	駅中
2	理事（新任）	山田 幸一	納米里
3	理事	松崎 雅敏	下長窪
4	理事	米原 敏子	下長窪
5	理事	押山 昌弘	上土狩
6	理事	繁松 紀弘	池田
7	理事	松井 功	東
8	理事	後藤 照代	原
9	理事	山口 素行	竹原
10	理事	岡沢 啓造	上土狩
11	理事	渡辺 秀子	中土狩
12	理事（新任）	古谷 伸雄	中土狩
13	理事（新任）	信田 知恵子	原分
14	理事	山田 文和	薄原上
15	監事	関 知典	南一色
16	監事（新任）	平川 聰	下長窪

## 第3号議案

### 会員会費規程の一部改正について

長泉町シルバー人材センター定款第7条第1項の規定に基づき、  
「会員会費規程」の一部を改正することについて定款第12条7号の規定により  
議決を求める。

令和3年6月25日提出

公益社団法人長泉町シルバー人材センター

理事長 内田 将善

#### 改正の内容

会員会費規程の一部を次のように改正する。

第2条に第2項を追加する。

「2 前項第1号の規定にかかわらず、年度の中途中で入会した者の会費は次の区分による。

- |                 |        |
|-----------------|--------|
| (1) 4月から9月入会者   | 2,000円 |
| (2) 10月から12月入会者 | 1,000円 |
| (3) 1月から3月入会者   | 500円   |

附 則（令和3年6月 日改正）  
この規定の一部改正は、令和3年6月 日（総会の決議の日）から施行する。

#### 改正の理由

シルバー人材センター正会員の会費は、年間2000円となっているが、途中入会でも同額であるため、年度中途の入会促進の妨げになっている。

この為、10月から12月に加入した会員の会費は1,000円に、1月から3月に加入した会員の会費は500円に減額する規程の改正をする。

第3号議案 会員会費規程の一部改正について  
下線部分の規定を追加。

公益社団法人長泉町シルバー人材センター会員会費規程

(目的)

第1条 この規程は、公益社団法人長泉町シルバー人材センタ一一定款第7条に定める会費に関し、必要な事項を定める。

(会費の額)

第2条 会員が一事業年度に納入すべき会費の額は、次の号に定める額とする。

- (1) 正会員の会費は、年額2,000円とする。
- (2) 賛助会員の会費は、法人にあっては年額1口5,000円、個人にあっては年額1口1,000円とする。

2 前項第1号の規定にかかわらず、年度の中途で入会した者の会費は次の区分による。

- |                 |        |
|-----------------|--------|
| (1) 4月から9月入会者   | 2,000円 |
| (2) 10月から12月入会者 | 1,000円 |
| (3) 1月から3月入会者   | 500円   |

(納付期日)

第3条 会費は毎年1回5月末までに納入する。

2 ただし、新規入会申込者は、理事長の承認を得た後、1月以内に納入するものとする。

(会費の使途)

第4条 会費は、一事業年度における合計額の50%以上を当該年度の公益目的事業に使用する。(委任)

第5条 この規程に定めるもののほか会費に関し必要な事項は、理事会で定める。

附 則

この規程は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第106条第1項に定める公益法人の設立の登記の日(平成24年4月1日)から施行する。

附 則 (令和3年6月 日改正)

(施行期日)

この規定の一部改正は、令和3年6月 日(総会の決議の日)から施行する。(第2条関係)

## 《 参 考 資 料 》

役員感謝状贈呈者名簿

会員在籍20年表彰者名簿

会員在籍10年表彰者名簿

令和3年度事業計画

令和3年度收支予算

部会・委員会名簿

地域班長名簿

職域班世話人名簿

長泉町シルバー人材センター組織図

安全心得10ヶ条



## 役員 感謝状 贈呈者名簿

内田 将善 勝間田 一夫 加藤 種雄  
杉山 孝二

以下の表彰は、12月に改めて表彰式を行う予定です。 (順不同・敬称略)

## 会員在籍20年 表彰者名簿

※平成11年4月1日から平成12年3月31日までに入会 3名

羽畠 次雄 長谷川 チヨ子 杉山 美智子

※ 平成12年4月1日から平成13年3月31日までに入会 5名

岩崎 清水 渡辺 治代 稲田 ときゑ  
早津 知子 勝間田 隆

## 会員在籍10年 表彰者名簿

※平成21年4月1日から平成22年3月31日までに入会 17名

加藤 千代子	沓間 文子	田村 勝利
日吉 則男	下山 忠男	奥村 八重子
土屋 昭治	高橋 勇	堂坂 章一
国ノ十 善樹	佐野 富男	井元 國武
繁松 紀弘	三木 正晴	
(通算で10年以上)	高梨 栄子	田口 鈴代
加藤 善子		

※平成22年4月1日から平成23年3月31日までに入会 14名

金澤 幸一	渡邊 徳幸	山口 素行
上野 直美	日吉 幸子	鈴木 斐子
渡辺 秀子	穂坂 道夫	石原 廣一郎
富岡 雪江	稻木 英一	本間 作之助
芳賀 さと子	青木 雅史	

## 公益社団法人 長泉町シルバー人材センター

# 令和3（2021）年度 事業計画

令和3年1月1日現在の65歳以上人口が3,622万人を超える我が国の総人口の28.8%を占めることになり、長泉町も22.1%と超高齢社会に突入する時代にあって、定年制の延長や年金受給年齢の引き上げ、さらには新型コロナウイルスの発生から1年が経過しても収まらない感染拡大で、社会全体が大きく変わろうとしています。

このような中でも、「自主・自立、共働・共助」の基本理念のもと、地域の高齢者が長年培った知識・経験・技能を活かし、就業を通して健康で豊かな生活と積極的な社会参加による生きがいの充実を図ることを目的とするシルバー人材センターの存在意義、またその果たす役割は大きく、「生涯現役社会」の実現に向けた地域の担い手としてますます期待が寄せられているところです。

当センターは、昭和63年3月に事業開始以来、更なる飛躍を目指して、シルバー人材センターの最重要課題である就業機会の拡大・確保や会員の増加に積極的に取り組むとともに、当町が重点施策の柱として掲げている「高齢者支援、子育て支援」の施策展開を図り、公益社団法人としてより法令を遵守し、地域社会に根ざした法人として取り組んでまいります。

また、会員が求める多様な働き方に対応した雇用・就業機会を確保するため、シルバー派遣事業や新たな受託事業の開拓に努め会員の増加を図り、技能を必要とする就業においては後継者の育成を促進し、更に、会員及び役職員が一丸となって精力的に事業を開拓してまいります。

## 1. 重点目標

### （1）会員増加と退会抑制に努力いたします。

労働者人口が減少する中、会員が減少し受注が伸びない状況が続いています。

入会しやすい環境づくりと、居心地の良い組織づくり、福利厚生等の充実により、今年度会員数427人を目標に取り組み、会員の増加を図り、会員と役職員とが力を合わせ、既存受注の定着及び拡大や新規受注の確保、介護関連事業の開拓を図るとともに、請負業務の新規開拓に努め、会員の就業機会の確保に取り組んでまいります。

### （2）信頼されるシルバー人材センターとなるよう努めます。

会員が、技能や知識を身につけ、社会に貢献できるようワークプラザ等を利用した各種講習会・研修会を実施して知識・技能の向上を図りながら、各種ルールを徹底し会員の能力・資質向上に努めます。また、お客様の声を把握し、お客様のニーズに応える誠実な仕事で信頼していただけるよう努めてまいります。

更に、ふれあい文化祭や、ボランティア活動などによる社会貢献を促進し、信頼されるシルバー人材センターになるよう努めてまいります。

### （3）基本理念である「自主・自立、共働・共助」の推進を図ります。

会員、役員、職員との連携を密にし、苦情・要望・提案など情報の共有化を図り、会員自らの意識を改革し、受注先開拓・受注作業の円滑な処理・就業機会の均衡化など、自主的・主体的な活動の推進に努めてまいります。

更に、会員の安全就業・健康管理の注意を喚起し、事故“ゼロ”の実現に努めてまいります。

事業の適正な運営を期すために、行政機関・県シ連及び周辺シルバー人材センターと連携を密にし、着実かつ健全な発展に努め、地域社会に貢献してまいります。

## 2. 具体的な実施計画

### （1）入会したい、入会しやすい環境づくり

シルバー事業の趣旨普及と会員増加を図るため、会報「いぶしぎん」の発行、パンフレットの配布を行うとともに、会員の充実した生活の後押しをするため、ホームページやフェイスブックの充実とスマホ教室を開催します。

又、年度途中からの入会の負担軽減のための会費減額や、仕事を見つけてから登録する「仮登録」制度を充実し、気楽に参加できる組織を目指します。

### （2）永続的会員の増加

年令が高くなると仕事の継続も困難になってきますが、同じ仕事の継続ができなくても、仲間とともに一定の役割を持ち組織に止まれるよう施策の検討を行います。

又、得々チケットの発行や、趣味やサークル活動の拡充（アンケート実施、階段下ギャラリーの実施、ワークプラザ利用サークルの増加）、旅行など互助会

活動への支援、ふれあい文化祭の実施、ボランティア活動の推進等により、会員との触れ合いを重視し、組織に留まる人の増加を図ります。

### (3) 就業に関する知識、技能の向上

お客様の信頼とニーズに応えるため、会員に就業上の必要な知識・技能の向上を目的とし、各種研修会・講習会の充実を図ります。

更に、技能講習や就業支援等を実施し、後継者の育成及び会員のスキルアップを図ります。

### (4) 安全就業の推進

シルバー就業は、会員が安全に就業できることが最優先であり、交通事故や就業中の事故ゼロを目指して、安全対策の蓄積と意識高揚、啓発に努めます。

- ① 安全委員会の開催（3回）及び安全パトロールの実施（2回）、巡回活動の強化
- ② 交通安全講習会の実施
- ③ 安全就業研修会、各種技能・技術講習会等への参加
- ④ 事故原因の分析、事故防止対策の検討
- ⑤ KY（危険予知）活動の実施
- ⑥ 感染防止対策の実施
- ⑦ 衛生委員会の実施
- ⑧ 蜂刺されによるショック死防止対策（エビペンの所持）の実施

### (5) 就業機会の開拓と確保

あらゆる機会を捉え広報活動を強化し、公共機関及び企業・一般家庭等にシルバー事業の理解を求め、短期・短時間就業であってもお引き受けさせて頂くなど受注拡大に努めるとともに、既受注先や新規事業所に企業訪問を実施し、新たな就業の開拓に努めます。さらに「空き家対策事業」など新たな就業機会拡大のため、役職員・会員一人ひとりが「会員一人一仕事紹介」の実践に努め、誰でもできる軽作業の検討をしていきます。

### (6) 就業機会の均衡化

会員の能力と希望に応じて公平に就業機会が得られるよう、ローテーションを組むなど均衡化を図り、ワークシェアリングの精神に基づき、長期就業の改善のため、適正就業に関する取扱要領に基づき均衡化を図ります。

併せて、未就業会員の就業促進を図ります。

## (7) ワークプラザを拠点とした事業の推進

各種講習会・研修会を開催して会員の質的向上を図り、ワークプラザを拠点とした独自活動の拡大と、会員同士の交流、居場所づくりを推進し、退会抑制を図ります。

## (8) 福祉家事援助サービス事業の推進

超高齢社会の中において、介護保険の制度改革に伴い、地域における介護関連事業の重要性が増しており、当センターにも期待が寄せられております。

今後、需要が増加する介護保険総合事業の関連サービス対応した事業の検討をするとともに、介護有資格者の活用や家事援助等の講習会を実施し、会員の拡充と技術の向上を図ります。

## (9) シルバー派遣事業の推進

指揮命令を伴う仕事はシルバー派遣事業で受注するなど、法令遵守に基づく適正就業を推進するとともに、新たな受注拡大と就業形態への対応及び多様な就業を確保するため県シ連と連携して派遣事業に積極的に取り組んでいきます。

## (10) 職業紹介事業への取り組み

多様な就業の場を求める高齢者が増加していることから、あらゆるニーズに適切に対応する為派遣事業に併せて、有料職業紹介事業を進めていきます。

## (11) シルバー人材センター事業の目的を達成するための諸活動

### ① 独自事業の展開

手作りショップ「ひまわり」の、得々チケット参加店登録に伴い、会員への割引サービスを実施し、その財源を支援する事で、会員優遇制度の充実と、独自事業の拡大を図ります。

ふれあい文化祭や、福祉健康祭りへの出展等を通して、会員の趣味・特技を生かした各種サークル活動を充実し、次のステップとして独自事業への発展を促します。

### ② 地域社会奉仕活動

会員による町内一斉清掃ボランティア活動や桜堤の遊歩道清掃活動を展開し、シルバー人材センターの存在をアピールするとともに、会員個人としても通学児童の見守り隊をはじめ、各種ボランティア活動や地域活動にも参加して地域社会に貢献していきます。

### ③ 会員への福利厚生活動

会員相互の親睦を深め、シルバー人材センター事業の活性化と心豊かな仲間づくりを図るため、互助会の活動に積極的な支援をしていきます。

特に会員交流行事や、生きがいや楽しみを求めて行う各種サークル活動を支援し、魅力あるセンターづくりを目指します。

## 令和3(2021)年度 収支予算(案) 会計区分別

令和3(2021年)年4月1日から令和4(2022年)年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計 公1	法人会計	内部取引控除	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
特定資産運用益	1,000	0	0	1,000
特定資産受取利息	1,000			1,000
受取会費	458,000	457,000	0	915,000
正会員受取会費	360,000	360,000		720,000
賛助会員受取会費	98,000	97,000		195,000
事業収益	144,374,000	2,953,000	0	147,327,000
受取配分金	125,000,000			125,000,000
受取材料費等	12,727,000			12,727,000
受取事務費	6,647,000	2,953,000		9,600,000
労働者派遣事業等受託収入	3,488,000	0		3,488,000
労働者派遣事業等受託収入	3,488,000			3,488,000
職業紹介事業受託収益	1,000	0		1,000
職業紹介事業受託収益	1,000			1,000
受取補助金等	27,000,000	0	0	27,000,000
受取連合交付金	13,500,000			13,500,000
受取町補助金	13,500,000			13,500,000
受取寄付金	1,000	0	0	1,000
受取寄付金	1,000			1,000
施設管理委託収益	755,000	0	0	755,000
施設管理委託	755,000			755,000
雑収益	2,000	0	0	2,000
受取利息	1,000			1,000
雑収益	1,000			1,000
<b>経常収益計</b>	<b>176,080,000</b>	<b>3,410,000</b>	<b>0</b>	<b>179,490,000</b>
(2) 経常費用				
事業費	176,080,000		0	176,080,000
支払配分金	125,000,000			125,000,000
支払材料費等	14,389,000			14,389,000
給料手当	3,695,000			3,695,000
臨時雇賃金	1,153,000			1,153,000
法定福利費	2,663,000			2,663,000
退職給付費用	1,465,000			1,465,000
福利厚生費	59,000			59,000
会議費	136,000			136,000
旅費交通費	379,000			379,000
通信運搬費	599,000			599,000
減価償却費	62,000			62,000
消耗什器備品費	65,000			65,000
消耗品費	864,000			864,000
修繕費	124,000			124,000
印刷製本費	587,000			587,000
光熱水料費	712,000			712,000

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引控除	合計
	公1			
賃借料	1,527,000			1,527,000
保険料	1,498,000			1,498,000
諸謝金	17,802,000			17,802,000
租税公課	573,000			573,000
支払負担金	40,000			40,000
委託費	2,662,000			2,662,000
教材費	1,000			1,000
支払手数料	10,000			10,000
雜費	15,000			15,000
管理費		3,410,000	0	3,410,000
給料手当		427,000		427,000
臨時雇賃金		1,000		1,000
法定福利費		43,000		43,000
退職給付費用		36,000		36,000
福利厚生費		87,000		87,000
会議費		204,000		204,000
旅費交通費		608,000		608,000
通信運搬費		103,000		103,000
減価償却費		1,000		1,000
消耗什器備品費		1,000		1,000
消耗品費		29,000		29,000
修繕費		7,000		7,000
印刷製本費		150,000		150,000
光熱水料費		38,000		38,000
賃借料		380,000		380,000
保険料		45,000		45,000
諸謝金		1,000		1,000
租税公課		10,000		10,000
支払負担金		599,000		599,000
委託費		192,000		192,000
支払手数料		398,000		398,000
雜費		50,000		50,000
<b>経常費用計</b>	<b>176,080,000</b>	<b>3,410,000</b>	<b>0</b>	<b>179,490,000</b>
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0	0
当期経常増減額	0	0	0	0
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
過年度減価償却益				0
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
過年度減価償却損				0
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0
一般正味財産期首残高	13,523,195	49,590	0	13,572,785
一般正味財産期末残高	13,523,195	49,590	0	13,572,785
II 正味財産期末残高	13,523,195	49,590	0	13,572,785

## 収支予算書に係る注記

### 1. 投資活動及び財務活動に関する見込

(単位:円)

	予算額	前年度予算額	増減
【投資活動収支の部】			
(投資活動収入)			
特定資産取崩収入	1,318,000	0	1,318,000
財政運営資金資産取崩収入	0	0	0
固定資産取得積立資産取崩収入	1,318,000	0	1,318,000
投資活動収入計	0	0	0
(投資活動支出)			
特定資産取得支出		500,000	△ 500,000
減価償却引当資産取得支出		500,000	△ 500,000
財政運営資金資産取得支出		0	0
投資活動支出計		500,000	△ 500,000

### 2. 借入金限度額

令和3年度における短期借入金限度額は、10,000,000円とする。

### 3. 債務負担額

(単位:円)

年 度	金 額	内 容
令和3年度	3,100,260	シルバーシステム等一式、コピー機、電話機、給茶器リース料
令和4年度	2,804,198	シルバーシステム等一式、コピー機、電話機、給茶器リース料
令和5年度	1,175,292	シルバーシステム等一式、コピー機、電話機、給茶器リース料

# (旧) 部会・委員会名簿

任期 令和元年定時総会時～令和3年定時総会時

## 1. 専門部会

### (1) 総務部会

(順不同、敬称略)

理事	押山 昌弘(部会長)	米原 敏子	岡沢 啓造
会員	石原 良明(副部会長)	渡邊 甲志	杉山八重子
事務局	杉山 恵美子		

### (2) 事業部会

理事	松井 功(部会長)	加藤 種雄
会員	寺内伊三夫(副部会長)	大塚 瞳志
事務局	小西 哲哉	

### (3) 広報部会

理事	松崎 雅敏(部会長)	後藤 照代	渡辺 秀子
会員	鈴木 鮎子(副部会長)	芳賀 さと子	神田 勝
事務局	白畠 由美子		

## 2. 理事監事候補者選考委員会

理事監事候補者選考委員(理事3名、会員4名)

理事	松井 功	米原 敏子	山口 素行
会員	寺内伊三夫(委員長)	石原 良明(副委員長)	土屋 昭治
			土屋 政博

## 3. 安全委員会

安全委員(理事4名、会員4名、事務局1名)

理事	勝間田一夫(委員長)	加藤 種雄	繁松 紀弘	山田 文和
会員	小野 勝年(副委員長)	本間作之助	早津 知子	秋山 勝
事務局	石黒 正行			

## 4. 衛生委員会(人材派遣業務:連合会長泉町事務所及び事務局)常時労働50人以上 労働安全衛生法

事務所 (2)	山田文和(委員長) 杉山恵美子(衛生管理者) 太田 宏平(産業医)
労働者(2)	押山昌弘 岡沢啓造 事務局 杉山恵美子 小西哲哉

## 5. ふれあい文化祭実行委員会

理事	山口 素行(委員長:互助会会长) 松崎雅敏(副) 松井功(副) 押山昌弘(副) 繁松紀弘(副) 加藤種雄、米原敏子、岡沢啓造、渡邊秀子、
互助会	寺内伊三夫(副会長) 柏木敬造(副会長) 杉沢博夫(副会長)

## 地 域 班 長 名 簿

任期 令和3年定時総会時～令和5年3月31日

(敬称略)

地区	班名	地 域	班長名
長窪地区	1班	元長窪、上長窪、屋代住宅	霞 登
	2班	下長窪、谷津	石原 良明
	3班	池田、尾尻住宅	中村 三重子
南一色、 納米里 地区	4班	駿河平、南一色、八分平、東ベ南一色	関 知典
	5班	納米里	眞田 平和
上土狩、 中土狩 地区	6班	上土狩（桜堤含む）、惣ヶ原	渡邊 政勝
	7班	中土狩（桜堤含む）エンゼル、シャリエ 中土狩、東レ自治会	早津 知子
下土狩1 地区	8班	鮎壺、荻素、シャルマン	土屋 昭治
	9班	新屋町上、新屋町中 新屋町下	田口 鈴代
	10班	駅上、駅中、駅下、薄原上 薄原下	加藤 宏司
下土狩2 地区	11班	西、原、東、シャリエ南・東	杉山美智子
	12班	原分、杉原、三軒家、グランツ	大塚 瞳志
竹原、本宿 地区	13班	高田、竹原、エンゼル西、シャルマン 竹原	清水 清吾
	14班	本宿	秋山 久

## 職域班世話人名簿

任期 令和3年定時総会時～令和5年3月31日

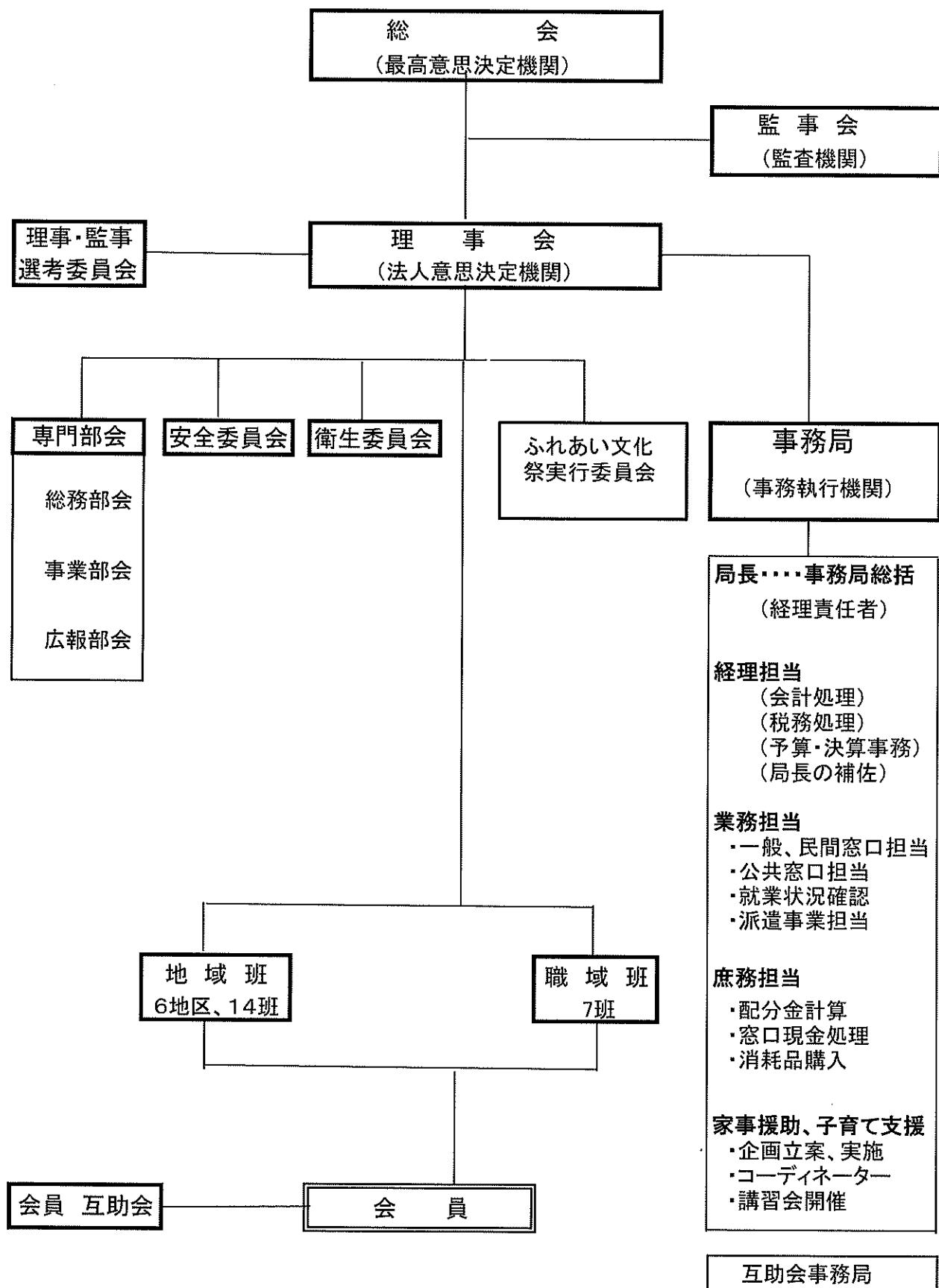
(敬称略)

班名	氏名
造園グループ (植木、草刈、収集)	本間 作之助 (植木1班) 古谷 伸雄 (植木2班) 秋山 勝 (植木3班) 近藤 登志夫 (草刈り1班) 加藤 種雄 (草刈り2班) 宮川 清司 (草刈3班) 鈴木 太三 (収集班)
木工班	山田 耕作
若草班 (草取り)	青柳 俊子 早津 知子
サポート班 (介護、子育て支援、家事援助)	芳賀 さと子
美化班 (企業内清掃)	渡辺 政勝
リフォームひまわり班	杉山 美智子
管理グループ	加藤 宏司

## 職員名簿

職名	氏名	担当
局長	山田 文和	総括
次長	杉山 恵美子	事務局長補佐・経理
職員	石黒 正行	業務(公共)、安全委員会、保険、草取
職員	小西 哲哉	派遣・業務(民間) 家事・子育て事務
職員	白畠 由美子	経理・庶務、広報、就業報告(民間) リフォーム
嘱託	渡辺 雅仁	植木、草刈り、民間業務
臨時	小林 朋子	家事援助・子育て支援コーディネート

## 公益社団法人 長泉町シルバー人材センター 組織図



(公社)長泉町シルバー人材センター

第26回 会員互助会総会

議 案 書

日 時 令和3年6月25日（金）第10回定時総会終了後  
場 所 長泉町ワークプラザ（長泉町シルバー人材センター）  
開催方法 書面決議（議決権行使）書の提出による

## 第26回 会員互助会総会 次第

1. 開会のことば
2. 会長あいさつ
3. 議長選出
4. 議長あいさつ
5. 議事
  - (1) 第1号議案 令和2年度事業報告について
  - (2) 第2号議案 令和2年度収支決算報告について  
令和2年度監査報告
  - (3) 第3号議案 会員互助会会則の一部変更について
  - (4) 第4号議案 令和3年度事業計画について
  - (5) 第5号議案 令和3年度収支予算について
6. 議長退任あいさつ
7. 役員紹介
8. 喜寿祝い
9. 閉会のことば

\*新型コロナウイルス感染防止のため総会は、会員が参集せずに  
書面表決の方法により行います。

当日は必要最小限の出席で議事のみ審議し可否を集計して決定します。

## 第1号議案

### 事業報告について

公益社団法人長泉町シルバー人材センター会員互助会も設立以来25年を経過し、会員数は3月末現在334名となっており、会員の相互扶助および福利厚生を図ることにより、健康及び生きがいに寄与することを目的とした事業も、会員皆様方の協力により達成できました。

以下、令和2年度の事業報告をします。

#### 1 慶弔贈与事業

喜寿のお祝い12名(3年度へ)、お香典2名、お見舞い1名

#### 2 福利厚生事業

##### (1) グラウンドゴルフ大会

第44回 令和2年11月 7日 31名参加

第45回 令和3年 2月27日 36名参加

##### (2) 忘年会 長泉町福祉会館 中止

##### (3) 日帰り研修旅行

令和2年11月20日(金)～11月26日(木)の内 4回実施

「クレマチスの丘散策」 参加者 45人(うち会員家族 5人)

#### 3 同好会活動

##### (1) 山野草愛好会

山野草盆栽店の見学実施、植木鉢選び、石付け、苔玉つくり等

##### (2) 写真同好会

撮影会中止、勉強会年5回実施、

シルバー人材センター建物内に展示

##### (3) ゴルフ同好会

活動休止

##### (4) カラオケ同好会

活動休止

## 第2号議案

### 令和2(2020)年度 収支決算報告

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

収 入	503,308
支 出	81,456
差 引 (次年度へ繰越)	421,852

(収入)

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 引 (予算-決算)	備 考
会 費	180,000	171,500	8,500	500 円×343名
雑 収 入	3	4	-1	預金利息
前年度繰越金	331,804	331,804	0	
合 計	511,807	503,308	8,499	

(支出)

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 引 (予算-決算)	備 考
事 業 費	100,000	66,421	33,579	同好会・グラウンドゴルフ大会 2回
慶弔費	82,000	13,000	69,000	お香典 5,000×2名 お見舞 3,000×1名
事 務 費	3,000	2,035	965	事務用品購入代
予 備 費	326,807	0	326,807	
合 計	511,807	81,456	430,351	

上記の通り報告いたします

会長 山口 素行 ㊞

会計 大塚 瞳志 ㊞ (原本は署名押印済みです)

### 監 査 報 告 書

(公社) 長泉町シルバーメンバー会員互助会の令和2年度の事業の執行並びに収支決算について監査した結果、いずれも適正であることを認めます。

令和3年5月14日

監 事 山本 博 ㊞

監 事 上野 直美 ㊞ (原本は署名押印済みです)

## 第3号議案

### 互助会会則の一部改正について

長泉町シルバー人材センター会員互助会会則の一部を改正することについて議決を求める。

令和3年6月25日提出

公益社団法人長泉町シルバー人材センター

互助会会长 山口 素行

#### 改正の内容

会員互助会の規程の一部を次のように改正する。

第5条に第3項を追加する。

「3 第1項の規定にかかわらず、年度中途で入会した者の内、1月から3月入会者については、会費を徴収しない。」

第6条第1項第7号中「事務局長」を削り「若干名」を追加する。

第11条第1項中、「総会の承認を得なければならない。」を「総会に報告するものとする。」に改める。

附 則（令和3年6月 日改正）  
この規定の一部改正は、令和3年6月 日（総会の決議の日）から施行する。

#### 改正の理由

シルバー人材センター正会員の会費の改正に伴い、互助会費も途中入会者の会費を減額する改正と、事業計画及び予算は、総会報告事項とする等の所要の改正を行う。

第3号議案 互助会会則の一部変更について

下線部分を追加し、削除部分を削る

公益社団法人長泉町シルバー人材センター会員互助会会則（案）

（名称および所在地）

第1条 この互助会は、公益社団法人長泉町シルバー人材センター会員互助会（以下「互助会」という。）といい、事務所を公益社団法人長泉町シルバー人材センター（以下「センター」という。）事務局内に置く。

（目的）

第2条 互助会は、共助の精神に基づき、会員の相互扶助及び会員の福利厚生を図ることにより、会員の健康及び生きがいに寄与することを目的とする。

（事業）

第3条 互助会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

（1）会員の慶弔に関する事業

（2）会員の福利厚生に関する事業

2 前項第1号に掲げる慶弔の種類及び金額は次のとおりとする。

（1）会員本人が死亡したとき 5千円

（2）喜寿の祝い金 3千円

（3）会員が傷病で20日以上入院加療中のとき 3千円

但し5年以上会費を納入した会員に限る。

（会員）

第4条 互助会の会員は、センターに入会している会員をもって組織する。

（会費）

第5条 互助会の会員は、次に定める会費を納入しなければならない。

互助会費 年額 5百円

2 前項に規定する会費は、毎年1回6月定期総会までに納入しなければならない。

ただし、新たに入会した会員については、入会時に納入するものとする。

3 第1項の規定にかかわらず、年度中途で入会した者の内、1月から3月入会者については、会費を徴収しないものとする。

（役員）

第6条 互助会に次の役員を置く。

（1）会長 1名

（2）副会長 若干名

（3）会計 1名

（4）幹事 地域班長

（5）監事 2名

- (6) 名誉会長 理事長  
(7) 顧問 若干名 事務局長  
(役員の選任及び任期)

第7条 幹事は各地域班長とする。

- 2 会長、副会長及び会計は全会員の中から選出する。尚、幹事の中から互選することを妨げない。
- 3 監事は幹事会で会員の中から選出する。
- 4 役員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

(会議)

第8条 互助会の会議は総会及び幹事会とし、会長が招集する。

- 2 定期総会は毎年6月、センターの総会に統一して開催する。
- 3 会長が必要と認めた場合、臨時総会を開催する。
- 4 幹事会は必要に応じて開催する。
- 5 総会の議長は、その総会に出席した会員から選出する。
- 6 幹事会の議長は、会長がこれにあたる。
- 7 会議の定足数は構成員の2分の1以上とする。
- 8 会議の決議は、出席した構成員の過半数の同意をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(資産の構成)

第9条 互助会の資産は、次に掲げるものをもって構成する。

- (1) 会費
- (2) 寄付金
- (3) 資産から生じる収入

(事業年度)

第10条 互助会の事業年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(事業計画、予算及び会計)

第11条 互助会の事業計画及び予算は、会長が作成し幹事会の議決を得て総会に報告の承認を得るものとするなければならない。

- 2 会長は、前項の事業計画又は予算を変更しようとするときは、幹事会の承認を得なければならない。
- 3 互助会の事務は、センター事務局が行うものとする。

(事業報告、決算)

第12条 互助会の事業報告・決算は、会長が作成し監事の監査を経てその事業年度終了後速やかに総会の承認を得なければならない。

第13条 互助会同好会（愛好会）の実施については、事業実施要領に依る事とする。

(委 任)

第14条 この会則にない事項については、幹事会で決定する。

附 則

- 1 この会則は、平成8年4月1日から施行する。
- 2 互助会設立当初の役員の任期は、第7条の規定にかかわらず、平成9年6月定期総会の日までとする。
- 3 互助会設立当初の事業年度は、第10条の規定にかかわらず、平成8年6月総会の日から平成9年3月31日までとする。

附 則

この会則の一部変更は、平成14年6月19日から施行する。

附 則

この会則の一部変更は、平成15年6月1日から施行する。

附 則

この会則の一部変更は、平成24年6月23日から施行する。

附 則

この会則の一部変更は、平成26年6月25日から施行する。

附 則

この会則の一部変更は、平成28年6月24日から施行する。

附 則 (令和元年6月21日改正)

この会則の一部変更は、令和元年6月21日から施行する。 (第6条関係)

附 則 (令和3年 月 日改正)

この規則の一部改正は、令和3年 月 日 (総会決議の日) から施行する。 (第5条6条11条関係)

## 第4号議案

### 令和3年度 事業計画について

事業計画を次の通り提案します。

#### 1 慶弔贈与事業

互助会活動の目的である慶弔贈与事業は、その目的を達成しており、今年度も前年どおり継続してまいります。慶弔事項の発生は会員皆様からの連絡が頼りです。皆様方のご協力を宜しくお願いします。

#### 2 福利厚生事業

会員相互の親睦を図るため、今年も前年同様下記の通り事業計画を提案致します。又、さらに同好会の新規発足に努力をしていきます。皆様方の積極的なご協力を宜しくお願い致します。

##### (1) グラウンドゴルフ大会

第46回 5/22 (土)、第47回 11/6 (土) 中央グラウンドにて実施予定

##### (2) 新年会

長泉町福祉会館にて検討予定

##### (3) 親睦旅行（日帰り）

実施日 令和3年秋以降予定

##### (4) ふれあい文化祭

実施日 令和4年春予定

##### (5) 「得々ガイド」創刊と更新

会員限定のサービスを受けられる店舗等を紹介した冊子を創刊し充実します。

##### (6) 会員限定割引の開始

直営店「手作りショップひまわり」の服、バックや木工玩具等、会員限定の割引を行い福利厚生の充実を図ります。

#### 3 同好会活動

##### (1) 山野草愛好会

寄せ植え勉強会年数回の実施、ふれあい文化祭出品展示、山岸園山草盆栽店研修、野乃花山野草店見学

##### (2) 写真同好会

撮影会年3回、勉強会年12回の実施、シルバーパートナーセンター建物内に展示

##### (3) ゴルフ同好会

年1回のコンペの実施

##### (4) カラオケ同好会

活動中止

第5号議案

令和3(2021)年度 収支予算について  
(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

収支予算を次のとおり提案します。

(収入)

(単位:円)

科 目	本年予算額	前年予算額	増 減 (本年-前年)	備 考
会 費	180,000	180,000	0	500 円×360 名
雑 収 入	3	3	0	預金利息
前年度繰越金	421,852	331,804	90,048	
合 計	601,855	511,807	90,048	

(支出)

(単位:円)

科 目	本年予算額	前年予算額	増 減 (本年-前年)	備 考
事 業 費	100,000	100,000	0	新年会・各同好会・グラウンドゴルフ大会他・会員旅行
慶弔費	128,000	82,000	46,000	喜寿祝(2.3 年分)・見舞・香典等
事 務 費	3,000	3,000	0	事務用品購入代、総会用印刷代
予 備 費	370,855	326,807	44,048	
合 計	601,855	511,807	90,048	

科目間の流用は可とする

互助会員名簿

(令和3年定時総会時～令和5年定時総会時)

会長	山口 素行	幹事	眞田 平和
副会長	寺内 伊三夫	幹事	渡邊 政勝
副会長	内田 将善	幹事	早津 知子
副会長	柏木 敬造	幹事	土屋 昭治
会計	岡沢 啓造	幹事	田口 鈴代
幹事	霞 登	幹事	加藤 宏司
幹事	石原 良明	幹事	杉山 美智子
幹事	中村 三重子	幹事	清水 清吾
幹事	関 知典	幹事	秋山 久
幹事	大塚 瞳志		

※ 幹事は各地域班長が兼ねる

監事	松井 功	監事	上野 直美
顧問	大塚 瞳志		

